



## 新しい生活様式の浸透などによる 消費者・投資家のオンライン選好が進展

### 金融サービス事業を取り巻く事業環境

デジタルトランスフォーメーション(DX)の進展や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新しい生活様式の浸透により消費者・投資家のオンライン選好が進み、当社グループの金融サービス事業においては追い風となりました。今後も非接触型ビジネスであるオンライン金融や決済システムの領域において更なる成長機会があると考えています。

#### 主要企業

SBI証券	SBIインシュアランスグループ (保険持株会社)
SBIリクイディティ・マーケット(SBI LM)	SBI損保
SBI FXトレード(SBI FXT)	SBI生命
SBI VCTトレード	SBIいきいき少額短期保険
SBIマネープラザ	SBI日本少額短期保険
SBIネオモバイル証券	SBIリスタ少額短期保険
SBIネオトレード証券*	SBIプリズム少額短期保険
レオス・キャピタルワークス	常口セーフティ少額短期保険
SBIベネフィット・システムズ	SBI FinTech Solutions
SBI BITS	SBIレミット
ジャパンネクスト証券	SBIビジネス・ソリューションズ
大阪デジタルエクスチェンジ	SBI Ripple Asia
住信SBIネット銀行	マネータップ
SBIファイナンシャルサービスズ	B2C2
SBIネオファイナンシャルサービスズ	

※ 旧 ライブスター証券

#### 2021年3月期の主な取組み・重点戦略

##### 証券関連事業

- FX事業の強化や、暗号資産取引、外債販売に係るトレーディング収益の増加等、SBIグループ全体のシナジー効果によりトレーディング収益は過去最高を更新
- ネオ証券化(オンライン取引での国内株式売買委託手数料無料化)の具現化に向けた収益源の多様化への取組みとして、M&Aを実施し4社を子会社化
- 若年層の更なる顧客獲得に向け、2021年4月より25歳以下を対象にした手数料実質無料化などの施策を実施
- 株式・債券の引受業務を強化し、IPO引受関与率は業界トップを堅持、主幹事引受社数も15社と過去最高を更新

##### 銀行関連事業

- ネオバンク構想の第2弾として、(株)TマネーがT会員向け銀行サービス「T NEOBANK」を2021年3月より提供開始
- (株)仙台銀行、(株)福島銀行の2行に加え、(株)穴吹インシュアランスおよび(株)LIXIL住宅研究所等3社が新規銀行代理業者として住宅ローンの販売を開始
- トランザクション・レンディングを対象としたAI審査サービスの提供に向け、コンソーシアム(集団参加)型AI審査モデルを新たに開発

##### 保険関連事業

- 2020年9月に常口セーフティ少額短期保険がグループ入りしたことも寄与し、SBIインシュアランスグループ各社の保有契約合計数は230万件を突破
- 2021年1月に(株)島根銀行およびSBI生命が設立時社員となり、(一社)全国団信推進協会を共同で設立。業態・地域の垣根を越えた金融機関向け団信共同化スキームの提供を開始

### 2021年3月期における 連結税引前利益の事業分野別内訳(IFRS)

